

郵便番号

申込受付番号									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業者情報		
団体検査員番号		
団体検査員名		

現場検査立会者名			
現場検査日時	年	月	日
	時	分	時 分

検査項目		適否の判断基準		判定	確認方法		
					目視計測	書類	聴取
1 地盤調査	1	地盤調査の実施状況	<input type="checkbox"/> 設計施工基準に基づいて地盤調査が実施されている ・SWSは4隅含めて4箇所以上 又は工学的根拠から3箇所以下 ・適切な地盤調査方法である（※平板載荷試験の単独は不可） <input type="checkbox"/> 現地調査チェックシートが全てA判定のため地盤調査を省略している（戸建木造2階建て相当に限る）				
	2	地盤調査の考察	地盤調査会社等が工学的に考察を行い、地盤補強の要否や基礎の形式等が判断されている				
2 地業	1	地業	地業を実施している				
	2	地盤補強の実施状況	<input type="checkbox"/> 地盤調査結果に基づいた考察において、地盤補強が不要と判断されている <input type="checkbox"/> 考察に基づいて地盤補強工法が選定され、実施されている（工法を以下にチェック） <input type="checkbox"/> 柱状改良 <input type="checkbox"/> 表層改良 <input type="checkbox"/> 小口径鋼管杭 <input type="checkbox"/> 木杭 <input type="checkbox"/> 小口径コンクリート杭 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
3 基礎	1	基礎の構造	基礎の形式が地盤調査結果等に基づいて選択されている				
			根入れ深さが告示1347号に適合するように設計、施工されている ・布基礎240mm以上 ベタ基礎120mm以上				
	2	底盤	布基礎 告示1347号に適合するように設計、施工されている ・厚さ150mm以上 ・地盤の許容応力度に応じた底盤の幅 ・ベース筋の径D10以上、間隔300mm以下				
			べた基礎 配筋根拠が以下のいずれかである <input type="checkbox"/> べた基礎配筋表 <input type="checkbox"/> 構造計算 <input type="checkbox"/> 工学的判断（告示1347号、スパン表等） 配筋根拠に基づいて設計、施工されている ・告示1347号 底盤の厚さ120mm以上、配筋は鉄筋径D10以上 間隔300mm以下				
	3	立上り部分	告示1347号に適合するように施工されている ・厚さ120mm以上 ・鉄筋径 主筋D13以上、縦筋D10以上、間隔300mm以下				
鉄筋の継手 <input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> その他							
4	別工区の施工状況	<input type="checkbox"/> 現場検査時に未施工の工区がある <input type="checkbox"/> 現場検査時に施工済の工区がある（工区を以下にチェック） <input type="checkbox"/> 深基礎部分 <input type="checkbox"/> 一部地下部分の基礎 <input type="checkbox"/> 別工区部分の基礎					
3条確認		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒機構整理番号：					
基準同等仕様							
特記事項							
結果		<input type="checkbox"/> 指摘内容はありません <input type="checkbox"/> 指摘内容通知書を確認する					

【凡例】判定欄 [適合：○、不適合：×と記入、該当なし：「/」（斜線）を記入]
 確認方法欄 [確認の拠り所を明らかにし、該当する欄にチェックマーク「し」を記入]

邸

申込受付番号								
--------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業者 情報		
団体検査 員番号		
団体検査 員名		

現場検査 立会者名			
現場検査 日時	年	月	日
	時	分	時 分

検査項目	判定	確認方法		
		目視 計測	書類	聴取
基礎 3	5	基礎高さ	地盤面からの高さが300mm以上である（特定住宅は400mm以上）	
4 材 料	1	枠組材	土台、壁枠組材、たる木、天井根太が38mm×89mmを満たしている <input type="checkbox"/> 床枠組材（根太）の断面寸法が38mm×140mmを満たしている <input type="checkbox"/> 根太レス工法	
	2	面材	床、壁、屋根下地に用いられている面材が告1540第二の二に 掲げられている表に適合する種類、規格である（種類を以下にチェック） <input type="checkbox"/> 構造用合板 <input type="checkbox"/> 構造用パネル <input type="checkbox"/> パーティクルボード <input type="checkbox"/> その他（ ）	
5 土 台	1	土台の 設置状況	・1階の耐力壁の下部に土台が設置されている ・地階があり、耐力壁の下部に土台が設置されてない場合、床根太が 補強されている	
	2	アンカーボルトの 間隔	径12mm以上かつ、長さ350mm以上のアンカーボルトが隅角部及び土台の継手部分に2m以下の間隔で配置されている	
6 床 版	1	床根太の 設置	<input type="checkbox"/> 床根太のスパンが8m以内である <input type="checkbox"/> 床根太のスパンが4.5m以上8m以内であり、床根太の辺長比が38mm×286mmより大きいため、3m以下ごとに転び止めが設けられている <input type="checkbox"/> 根太レス工法である 床根太相互及び床根太と側根太との間隔が650mm以下である	
	2	開口部	床版開口部に補強措置が講じられている	
7 壁 等	1	耐力壁の 量・配置	耐力壁線間距離が12m以下である 耐力壁線に囲われた部分の面積が以下のとおりである <input type="checkbox"/> 40㎡以下 <input type="checkbox"/> 40㎡超60㎡以下（補強措置有り） <input type="checkbox"/> 60㎡超72㎡以下 長辺/短辺≤2（補強措置有り）	
	2	開口部の 構造	耐力壁線上の開口部幅が以下のとおりである ・幅が4m以内である ・開口部の幅の合計が当該耐力壁線の長さの4分の3を超えていない	
8 材 横	1	床根太等の 欠き込み等	横架材の中央部付近の下部に構造耐力上支障となる欠き込みがない	
9 小 屋 組	1	たる木等	たる木相互の間隔が650mm以下である たる木つなぎ、振れ止めが設置されている	
	2	小屋組の 緊結	たる木又はトラスが頭つなぎ及び上枠に金物等で緊結されている	
	3	開口部の 構造	開口部の幅が以下のとおりである ・一箇所あたりの開口部の幅が2m以下である ・幅が2m超3m以下の開口部に補強等の措置が講じられている	
3条確認		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有⇒機構整理番号：		
基準同等仕様				
特記事項				
結 果		<input type="checkbox"/> 指摘内容はありません <input type="checkbox"/> 指摘内容通知書を確認する		

【凡例】判定欄 [適合：○、不適合：×と記入、該当なし：「/」（斜線）を記入]
 確認方法欄 [確認の拠り所を明らかにし、該当する欄にチェックマーク「し」を記入]